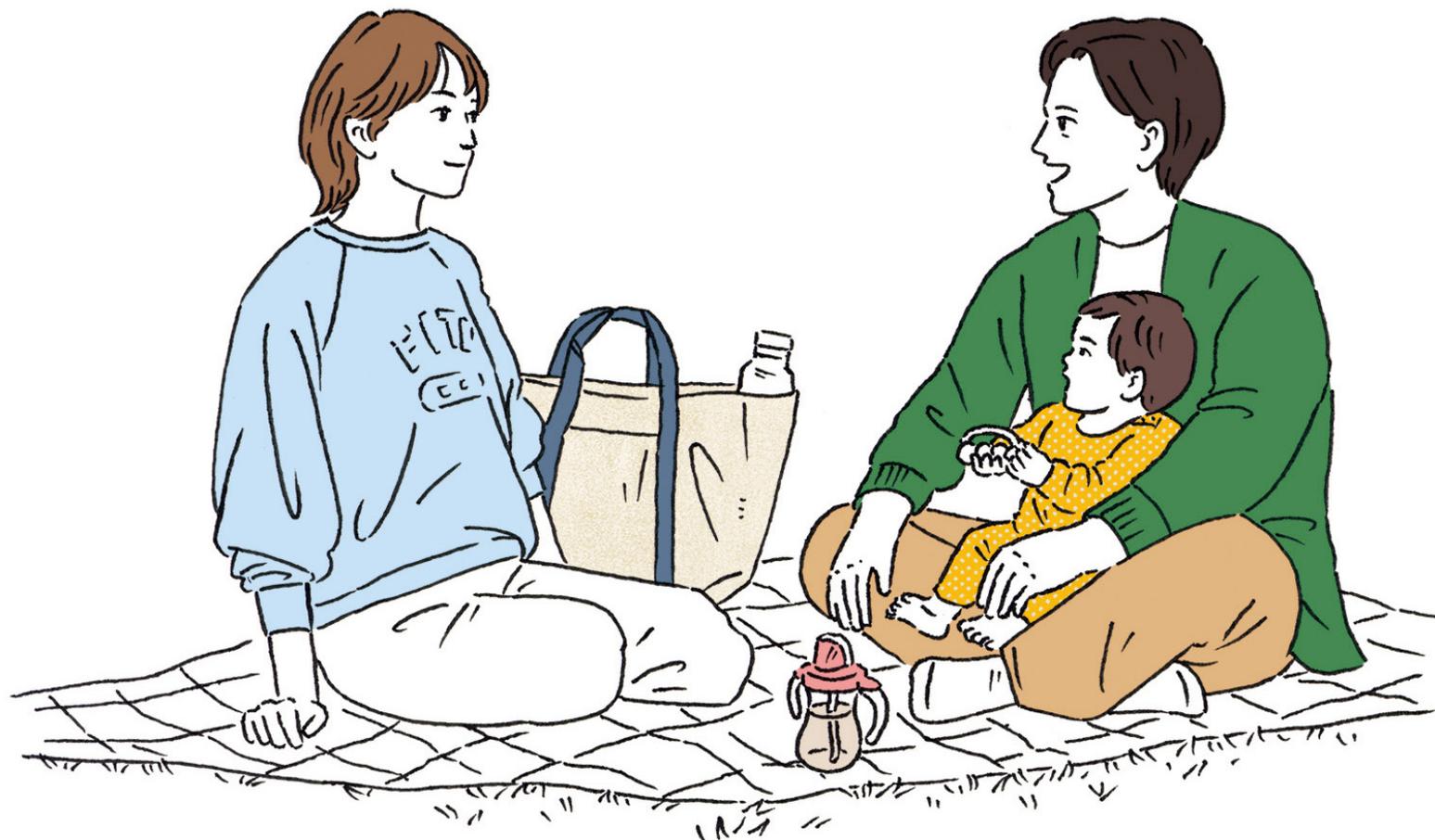


47都道府県のパパ・ママ9,400人に聞く、男性の家事・育児力実態調査
男性の育休取得率27.3%、育休取得日数は平均29.9日
取得率も取得日数も調査開始以来最高に



男性育休白書 2024

発表！ 男性の家事・育児力全国ランキング 2024
1位「沖縄県」 2位「秋田県」「鹿児島県」(2位タイ)

日本でも男性の育児休業取得が 当たり前になる社会へ

積水ハウスグループは
「男性社員1カ月以上の育児休業完全取得」を
推進しています。

「わが家」を世界一幸せな場所にする

住まいを通じた幸せを提案する
住宅メーカーとして、
人間性豊かな住まいと環境づくりを
進めています。

積水ハウス株式会社は、子育てを応援する社会を先導する「キッズ・ファースト企業」として、ダイバーシティ推進の取り組みを一層加速させるため、2018年9月より「男性社員1カ月以上の育児休業（育休）完全取得」を推進しています。積水ハウスは、男性の育休取得をよりよい社会づくりのきっかけとしたいとの思いから、9月19日を「育休を考える日」と記念日に制定し、2019年から企業で働く男性の育休取得実態を探る「イクメン白書」を、2021年からはタイトルを「男性育休白書」と改め、毎年発表しています。

6回目となる今回は、①男性の家事・育児力全国ランキング 2024 ②「男性育休白書 2024」家庭編、職場編をレポートします。

*本資料では育児休業のことを育休と表記しています。

CONTENTS

① 男性の家事・育児力 全国ランキング 2024

- P.4 1. 男性の家事・育児力 全国ランキング 2024
- P.7 2. 男性の家事・育児関与度
- P.9 3. 男性の育休取得日数
- P.10 4. 男性の家事・育児時間
- P.11 5. 男性の家事・育児幸福度

② 「男性育休白書 2024」 家庭編

- P.12 1. 男性の育休取得率と取得日数
- P.14 2. 育休を取得しやすい男性の傾向
- P.15 3. 夫の育休取得期間が半年を超えると、妻の満足度は約8割
- P.16 4. 家庭における男女の家事・育児分担率
- P.17 5. 「とるだけ育休」の実態
- P.18 6. 男性育休取得と家族との関係性の変化

③ 「男性育休白書 2024」 職場編

- P.20 7. 男性育休取得者による職場への影響
- P.22 8. 男性の育休取得が女性のキャリアに与える影響
- P.23 COLUMN 男性の育休は「頑張って取るもの」から「当たり前」に
- P.24 積水ハウス男性育休アンケート調査

調査概要

47都道府県のパパ・ママ9,400人に聞く男性の家事・育児力実態調査

- 実施時期：2024年6月14日（金）～6月26日（水）
- 調査方法：インターネット調査
- 調査対象：全国47都道府県別に、配偶者および小学生以下の子どもと同居する20代～50代の男女200人 計9,400人

男性の家事・育児力ランキングについては
人口動態+12歳未満のお子さまとの同居率もウエイトバック値に加味しています。

マネジメント層400人に聞く、男性社員の育休取得に対する意識調査

- 実施時期：2024年6月14日（金）～6月26日（水）
- 調査方法：インターネット調査
- 調査対象：従業員10人以上の企業の経営者・役員、部長クラスの男女400人

一般社員層800人に聞く、男性社員の育休取得に対する意識調査

- 実施時期：2024年6月14日（金）～6月26日（水）
- 調査方法：インターネット調査
- 調査対象：有職かつ一般社員クラスの20代～50代の男女800人

*本調査に記載の割合の数値は、小数第3位以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

*調査委託先：マクロミル

1. 男性の家事・育児力 全国ランキング 2024

積水ハウスが独自設定した

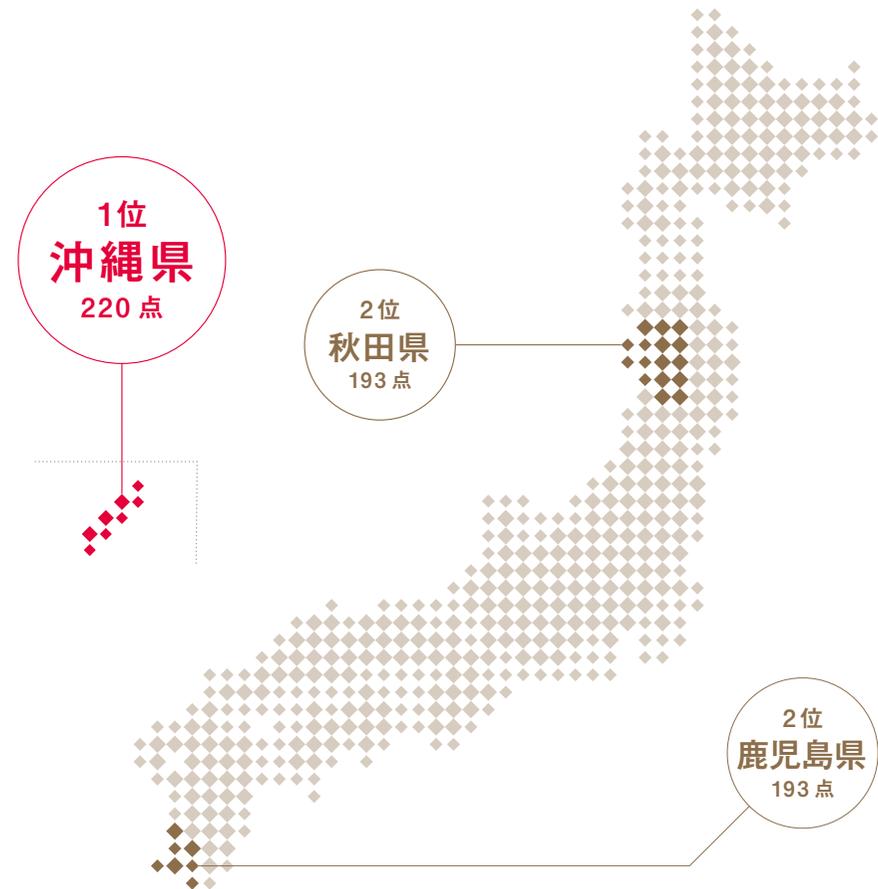
「男性の家事・育児力」を決める4つの指標

積水ハウスでは、右図の4つを「男性の家事・育児力」の指標として設定しました。1つ目は「女性(妻)の評価」で、男性(夫)が行っている家事・育児の実践数と、男性(夫)が子育てを楽しむ家事や育児に積極的に関与しているかどうかを4段階評価しています。2つ目は男性の「育休取得経験」で、育休取得日数が基準となります。3つ目は男性(夫)の「家事・育児時間」で、男性の自己申告ではなく、女性(妻)から見た男性(夫)の家事・育児時間を基準とします。4つ目は男性の「家事・育児参加による幸福感」で、男性本人に家事・育児に参加して幸せを感じているかどうかを4段階で聞きました。

これら4指標5項目をそれぞれ数値化して47都道府県別にランキングし、1位：47点～47位：1点を付与、各項目の点数を足し上げることで、都道府県別の「男性の家事・育児力」を算出しました。

男性の家事・育児力の4つの指標

指標① 女性の評価 男性の家事・育児の実践数 男性の家事・育児への関与度	指標② 育休の取得経験 男性の育休取得日数
指標③ 家事・育児時間 女性から見た男性の1週間の家事・育児時間	指標④ 家事・育児参加による幸福感 男性が感じる幸福感



男性の家事・育児力調査

1位「沖縄県」 2位「秋田県」「鹿児島県」

男性の家事・育児力調査の結果、全国1位は「沖縄県」(220点 / 前年7位)、2位は同スコアで「秋田県」(193点 / 前年46位)と「鹿児島県」(193点 / 前年28位)となりました。秋田県は前年から大きく浮上しています。

*ランキング算出用のウェイトバック集計を行っているため、本文内のスコアと一部相違する場合があります。

順位	都道府県	順位	スコア
1	沖縄県	1位	220点
		女性(妻)から見た男性(夫)の家事・育児の実践数	1位 8.1個
		女性(妻)から見た男性(夫)の家事・育児関与度	1位 0.71
		男性の育休取得日数	3位 42.3日
		女性(妻)から見た男性(夫)の家事・育児時間	2位 17.7時間/週
	男性が感じる家事・育児幸福度	13位 0.97	
2	秋田県	2位	193点
		女性(妻)から見た男性(夫)の家事・育児の実践数	8位 7.0個
		女性(妻)から見た男性(夫)の家事・育児関与度	4位 0.63
		男性の育休取得日数	21位 29.6日
		女性(妻)から見た男性(夫)の家事・育児時間	4位 16.1時間/週
	男性が感じる家事・育児幸福度	10位 1.00	
2	鹿児島県	2位	193点
		女性(妻)から見た男性(夫)の家事・育児の実践数	7位 7.0個
		女性(妻)から見た男性(夫)の家事・育児関与度	6位 0.62
		男性の育休取得日数	20位 29.9日
		女性(妻)から見た男性(夫)の家事・育児時間	3位 16.6時間/週
	男性が感じる家事・育児幸福度	11位 0.99	

沖縄県知事からのコメント

はいさい ぐすーよー ちゅーうがなびら。沖縄県知事の玉城デニーです。

今回、「男性の家事・育児力」ランキングで沖縄県が全国1位となったことを大変嬉しく思います。

現在、沖縄県では、『第6次沖縄県男女共同参画計画～DEIGOプラン～』において33項目の数値目標を掲げ、男女共同参画社会の実現に向けて62の具体的施策に取り組んでいるところです。男性の育休取得推進に係る事業については、「男性向け講座の実施」や、「職場等の理解を深めるために必要な広報・啓発活動」などについて積極的に取り組んでおります。沖縄県における直近の男性の育休休業取得率は40.3%であり(出典：『令和5年度 沖縄県労働条件等実態調査報告書』)、目標値である30%を大きく上回ることができました。これもひとえに、ワーク・ライフ・バランスに取り組んでいる企業や団体等の皆様の多大な御尽力によるものであり、関係者の皆様には、深く感謝申し上げます。

沖縄県はこれからも、家庭や社会における男女共同参画の実現に向け、全力で取り組みを推進してまいります。

まじゅん ちばてい いちゃびらなやーさい! (一緒に頑張っていきましょう)



沖縄県知事 玉城デニーさん

2024年 都道府県別 男性の家事・育児力一覧

2024年 都道府県	総合スコア		夫が行う家事・ 育児実践数		夫の家事・ 育児関与度		男性の 育児取得日数		夫の家事・ 育児時間		男性の家事・ 育児幸福度	
	順位	スコア	実践数(個)	順位	ウエイト平均	順位	平均日数(日)	順位	週あたり平均時間(時間)	順位	週平均時間(時間)	順位
1 北海道	23	120	5.5	36	0.34	30	27.0	31	13.9	22	1.26	1
2 青森県	12	149	6.8	12	0.70	2	29.5	22	14.5	14	0.80	41
3 岩手県	29	100	6.9	9	0.40	23	19.3	46	13.8	25	0.82	37
4 宮城県	18	132	6.3	23	0.43	18	32.4	12	11.6	41	0.96	14
5 秋田県	2	193	7.0	8	0.63	4	29.6	21	16.1	4	1.00	10
6 山形県	11	154	6.8	11	0.57	10	26.3	35	15.2	11	0.91	19
7 福島県	40	78	6.3	22	0.31	36	26.6	33	11.9	40	0.85	31
8 茨城県	43	66	5.2	43	0.27	40	22.9	42	14.0	20	0.85	29
9 栃木県	42	74	5.7	34	0.34	32	24.6	39	13.5	27	0.84	34
10 群馬県	6	178	6.5	16	0.61	7	32.7	10	16.1	5	0.88	24
11 埼玉県	41	77	5.5	37	0.41	19	31.7	15	10.4	46	0.73	46
12 千葉県	36	87	5.2	42	0.19	43	21.6	44	15.0	12	0.98	12
13 東京都	27	104	5.3	39	0.41	22	44.0	2	12.0	37	0.82	36
14 神奈川県	39	79	5.7	32	0.19	45	23.9	41	13.8	23	0.90	20
15 新潟県	34	92	5.9	31	0.19	44	28.6	27	14.0	21	0.88	25
16 富山県	21	131	6.5	15	0.41	20	28.9	25	12.6	32	0.93	17
17 石川県	13	146	7.0	6	0.35	29	42.2	4	13.1	29	0.87	26
18 福井県	10	164	7.2	3	0.47	14	31.7	16	12.1	36	1.07	7
19 山梨県	24	115	4.6	47	0.39	24	31.0	17	12.8	31	1.10	6
20 長野県	37	82	6.3	24	0.34	33	27.0	30	13.6	26	0.76	45
21 岐阜県	31	95	5.9	30	0.18	46	35.6	7	12.0	39	0.89	23
22 静岡県	43	66	5.1	44	0.37	27	27.2	28	12.5	33	0.79	42
23 愛知県	37	82	6.1	25	0.31	37	30.2	18	10.5	45	0.84	33
24 三重県	14	140	6.5	14	0.15	47	31.8	14	14.4	17	1.07	8
25 滋賀県	32	94	6.4	18	0.32	35	21.0	45	14.4	16	0.84	32
26 京都府	18	132	5.4	38	0.60	8	26.4	34	13.8	24	1.11	4
27 大阪府	27	104	6.0	28	0.47	13	19.1	47	13.0	30	0.92	18
28 兵庫県	47	36	4.9	45	0.25	41	27.0	32	11.4	43	0.78	43
29 奈良県	22	130	6.1	26	0.59	9	29.3	23	15.0	13	0.82	39
30 和歌山県	16	135	6.8	10	0.23	42	30.0	19	14.1	19	0.96	15
31 鳥取県	35	88	6.0	27	0.33	34	33.3	9	12.0	38	0.78	44
32 島根県	18	132	6.4	21	0.62	5	32.2	13	12.4	34	0.84	35
33 岡山県	25	114	6.4	19	0.44	17	26.2	36	15.7	7	0.72	47
34 広島県	17	133	6.5	17	0.45	16	29.1	24	15.3	10	0.81	40
35 山口県	32	94	5.6	35	0.36	28	25.5	38	11.6	42	1.11	3
36 徳島県	7	175	6.4	20	0.54	11	44.7	1	13.4	28	1.11	5
37 香川県	45	55	5.7	33	0.28	39	24.0	40	12.3	35	0.82	38
38 愛媛県	15	139	5.9	29	0.46	15	27.1	29	15.9	6	0.89	22
39 高知県	5	181	7.1	5	0.41	21	32.4	11	19.8	1	0.90	21
40 福岡県	8	173	6.5	13	0.69	3	36.7	6	14.4	15	0.85	30
41 佐賀県	4	188	7.2	4	0.52	12	28.9	26	15.6	8	1.22	2
42 長崎県	26	111	5.3	40	0.34	31	40.1	5	10.9	44	1.03	9
43 熊本県	9	168	7.2	2	0.39	26	34.5	8	15.3	9	0.86	27
44 大分県	46	44	4.9	46	0.31	38	25.9	37	9.9	47	0.86	28
45 宮崎県	30	97	5.3	41	0.39	25	22.8	43	14.1	18	0.95	16
46 鹿児島県	2	193	7.0	7	0.62	6	29.9	20	16.6	3	0.99	11
47 沖縄県	1	220	8.1	1	0.71	1	42.3	3	17.7	2	0.97	13
全国平均	-	-	5.8	-	0.38	-	29.7	-	13.1	-	0.88	-

小数第2位(ウエイト平均は小数第3位)を四捨五入しているため、表示されたスコアが同じでも順位が異なる場合があります。

*ランキング算出用のウエイトバック集計を行っているため、本文内のスコアと一部相違する場合があります。

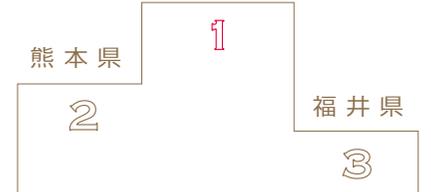
2. 男性の家事・育児関与度

指標 1-1 妻から見た夫の家事・育児実践数 1位は「沖縄県」

男性の家事・育児力の1つ目の指標の1は、妻から見た夫の家事・育児の実践数です。食事作りやゴミ出し、掃除や洗濯、子どもと遊ぶなど28項目を挙げ、夫が普段行っているものを選んでもらいました。

その結果、夫の家事・育児の実践数が多いのは、「沖縄県」(8.1個)、「熊本県」(7.2個)、「福井県」(7.2個)の順となりました。全国平均は昨年と同じ5.8個でした。

妻から見た夫の家事・育児実践数



妻から見た夫の家事・育児実践数 対象は女性5,102人

Q. あなたの夫が普段行っていることは？(複数回答)

順位	都道府県	実践数(個)									
1位	沖縄県	8.1	13位	福岡県	6.5	25位	愛知県	6.1	37位	埼玉県	5.5
2位	熊本県	7.2	14位	三重県	6.5	26位	奈良県	6.1	38位	京都府	5.4
3位	福井県	7.2	15位	富山県	6.5	27位	鳥取県	6.0	39位	東京都	5.3
4位	佐賀県	7.2	16位	群馬県	6.5	28位	大阪府	6.0	40位	長崎県	5.3
5位	高知県	7.1	17位	広島県	6.5	29位	愛媛県	5.9	41位	宮崎県	5.3
6位	石川県	7.0	18位	滋賀県	6.4	30位	岐阜県	5.9	42位	千葉県	5.2
7位	鹿児島県	7.0	19位	岡山県	6.4	31位	新潟県	5.9	43位	茨城県	5.2
8位	秋田県	7.0	20位	徳島県	6.4	32位	神奈川県	5.7	44位	静岡県	5.1
9位	岩手県	6.9	21位	島根県	6.4	33位	香川県	5.7	45位	兵庫県	4.9
10位	和歌山県	6.8	22位	福島県	6.3	34位	栃木県	5.7	46位	大分県	4.9
11位	山形県	6.8	23位	宮城県	6.3	35位	山口県	5.6	47位	山梨県	4.6
12位	青森県	6.8	24位	長野県	6.3	36位	北海道	5.5		全国平均	5.8

小数第2位を四捨五入しているため、実践数の表記が同数でも順位が異なる場合があります。

例えば、2位~4位は同じ7.2個ですが、小数第2位まで見ると、熊本県7.24個、福井県7.21個、佐賀県7.16個となるため、上記のような順位となります。他の同数で順位が異なることも同様の理由によるものです。

*ランキング算出用のウエイトバック集計を行っているため、本文内のスコアと一部相違する場合があります。

指標 1-2 妻から見た夫の家事・育児関与度 1位は「沖縄県」

男性の家事・育児力の1つ目の指標の2は、夫が子育てを楽しみ、家事や育児に積極的に関与しているかどうかを妻に聞くもので、「とてもそう思う(+2.00)」「ややそう思う(+1.00)」「あまりそう思わない(-1.00)」「まったくそう思わない(-2.00)」の4段階で評価してもらいました。

その結果、夫が楽しみながら家事・育児に積極的に関与しているのは、「沖縄県」(0.71)、「青森県」(0.70)、「福岡県」(0.69)の順となり、全国平均は去年と同じ0.38でした。



妻から見た夫の家事・育児関与度 対象は女性5,102人

Q. あなたの夫は子育てを楽しみ、家事や育児に積極的に関与する方だと思いますか？(4段階評価「とてもそう思う」「ややそう思う」「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」)

順位	県	ウエイト平均	順位	県	ウエイト平均	順位	県	ウエイト平均	順位	県	ウエイト平均
1	沖縄県	0.71	13	大阪府	0.47	25	宮崎県	0.39	37	愛知県	0.31
2	青森県	0.70	14	福井県	0.47	26	熊本県	0.39	38	大分県	0.31
3	福岡県	0.69	15	愛媛県	0.46	27	静岡県	0.37	39	香川県	0.28
4	秋田県	0.63	16	広島県	0.45	28	山口県	0.36	40	茨城県	0.27
5	島根県	0.62	17	岡山県	0.44	29	石川県	0.35	41	兵庫県	0.25
6	鹿児島県	0.62	18	宮城県	0.43	30	北海道	0.34	42	和歌山県	0.23
7	群馬県	0.61	19	埼玉県	0.41	31	長崎県	0.34	43	千葉県	0.19
8	京都府	0.60	20	富山県	0.41	32	栃木県	0.34	44	新潟県	0.19
9	奈良県	0.59	21	高知県	0.41	33	長野県	0.34	45	神奈川県	0.19
10	山形県	0.57	22	東京都	0.41	34	鳥取県	0.33	46	岐阜県	0.18
11	徳島県	0.54	23	岩手県	0.40	35	滋賀県	0.32	47	三重県	0.15
12	佐賀県	0.52	24	山梨県	0.39	36	福島県	0.31		全国平均	0.38

小数第3位を四捨五入しているため、ウエイト平均の表記が同数でも順位が異なる場合があります。

例えば、5位島根県と6位鹿児島県は同じ0.62ですが、小数第3位まで見ると島根県0.618、鹿児島県0.616となるため、上記のような順位となります。他の同数で順位が異なる箇所も同様の理由によるものです。

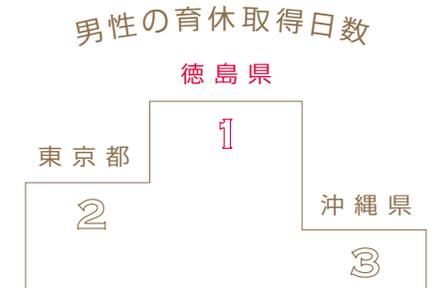
*ランキング算出用のウエイトバック集計を行っているため、本文内のスコアと一部相違する場合があります。

3. 男性の育休取得日数

指標 2 男性の育休取得日数、1位「徳島県」は44.7日も 全国平均でも29.7日と男性育休取得日数は約1カ月に

男性の家事・育児力の2つ目の指標は、男性が取得した育休日数です。

全員を対象に、男性は自分自身、女性は夫について育休の取得日数を回答いただき、男性の育休取得の平均日数を算出したところ、育休取得日数が多いのは、「徳島県」(44.7日)、「東京都」(44.0日)、「沖縄県」(42.3日)の順となり、全国平均は29.7日でした。昨年平均(23.7日)より6.0日長くなっています。



男性の育休取得日数 対象は全体9,400人

Q. あなたのパートナー(男性の場合はご自身、女性の場合は夫)は、育休を取得されましたか？ 取得された方は日数をお知らせください。

順位	県	平均日数(日)	順位	県	平均日数(日)	順位	県	平均日数(日)	順位	県	平均日数(日)
1	徳島県	44.7	13	島根県	32.2	25	富山県	28.9	37	大分県	25.9
2	東京都	44.0	14	三重県	31.8	26	佐賀県	28.9	38	山口県	25.5
3	沖縄県	42.3	15	埼玉県	31.7	27	新潟県	28.6	39	栃木県	24.6
4	石川県	42.2	16	福井県	31.7	28	静岡県	27.2	40	香川県	24.0
5	長崎県	40.1	17	山梨県	31.0	29	愛媛県	27.1	41	神奈川県	23.9
6	福岡県	36.7	18	愛知県	30.2	30	長野県	27.0	42	茨城県	22.9
7	岐阜県	35.6	19	和歌山県	30.0	31	北海道	27.0	43	宮崎県	22.8
8	熊本県	34.5	20	鹿児島県	29.9	32	兵庫県	27.0	44	千葉県	21.6
9	鳥取県	33.3	21	秋田県	29.6	33	福島県	26.6	45	滋賀県	21.0
10	群馬県	32.7	22	青森県	29.5	34	京都府	26.4	46	岩手県	19.3
11	高知県	32.4	23	奈良県	29.3	35	山形県	26.3	47	大阪府	19.1
12	宮城県	32.4	24	広島県	29.1	36	岡山県	26.2		全国平均	29.7

小数第2位を四捨五入しているため、育休取得日数の表記が同数でも順位が異なる場合があります。

例えば、11位高知県と12位宮城県は同じ32.4日ですが、小数第2位まで見ると高知県32.44日、宮城県32.41日となるため、上記のような順位となります。

*ランキング算出用のウエイトバック集計を行っているため、本文内のスコアと一部相違する場合があります。

4. 男性の家事・育児時間

指標
3

妻から見た夫の1週間の家事・育児時間 3年連続「高知県」が全国1位

男性の家事・育児力の3つ目の指標は、妻から見た夫の家事・育児時間です。勤務日と休日、それぞれの1日の家事・育児時間を聞き、1週間（勤務日5日＋休日2日）の家事・育児時間を算出しました。

その結果、夫の1週間の家事・育児時間が長いのは、「高知県」（19.8時間）、「沖縄県」（17.7時間）、「鹿児島県」（16.6時間）の順となりました。高知県は前回（19.3時間）・前々回（18.4時間）に続き3年連続全国1位です。全国平均は13.1時間でした。



妻から見た夫の1週間の家事・育児時間 対象は女性5,102人

Q. あなたの夫はご家庭で家事や育児をどのくらい行っていますか？ 1日で平均して行っている時間を勤務日、勤務日以外それぞれお知らせください。

順位	県名	週平均時間	順位	県名	週平均時間	順位	県名	週平均時間	順位	県名	週平均時間
1	高知県	19.8時間	13	奈良県	15.0時間	25	岩手県	13.8時間	37	東京都	12.0時間
2	沖縄県	17.7時間	14	青森県	14.5時間	26	長野県	13.6時間	38	鳥取県	12.0時間
3	鹿児島県	16.6時間	15	福岡県	14.4時間	27	栃木県	13.5時間	39	岐阜県	12.0時間
4	秋田県	16.1時間	16	滋賀県	14.4時間	28	徳島県	13.4時間	40	福島県	11.9時間
5	群馬県	16.1時間	17	三重県	14.4時間	29	石川県	13.1時間	41	宮城県	11.6時間
6	愛媛県	15.9時間	18	宮崎県	14.1時間	30	大阪府	13.0時間	42	山口県	11.6時間
7	岡山県	15.7時間	19	和歌山県	14.1時間	31	山梨県	12.8時間	43	兵庫県	11.4時間
8	佐賀県	15.6時間	20	茨城県	14.0時間	32	富山県	12.6時間	44	長崎県	10.9時間
9	熊本県	15.3時間	21	新潟県	14.0時間	33	静岡県	12.5時間	45	愛知県	10.5時間
10	広島県	15.3時間	22	北海道	13.9時間	34	島根県	12.4時間	46	埼玉県	10.4時間
11	山形県	15.2時間	23	神奈川県	13.8時間	35	香川県	12.3時間	47	大分県	9.9時間
12	千葉県	15.0時間	24	京都府	13.8時間	36	福井県	12.1時間		全国平均	13.1時間

小数第2位を四捨五入しているため、週平均時間の表記が同数でも順位が異なる場合があります。
例えば、4位秋田県と5位群馬県は同じ16.1時間ですが、小数第2位まで見ると、秋田県16.13時間、群馬県16.07時間となるため、上記のような順位となります。他の同数で順位が異なることも同様の理由によるものです。

*ランキング算出用のウエイトバック集計を行っているため、本文内のスコアと一部相違する場合があります。

5. 男性の家事・育児幸福度

指標
4

男性が感じる家事・育児参加による幸福度 1位は「北海道」

男性の家事・育児力の4つ目の指標は、男性が家事・育児を行うことに幸せを感じるかを聞いた家事・育児幸福度です。男性本人に4段階「幸せを感じている（+2.00）」「やや幸せを感じている（+1.00）」「あまり幸せを感じていない（-1.00）」「幸せを感じていない（-2.00）」で答えてもらいました。

その結果、家事・育児に幸せを感じる男性が多いのは、「北海道」（1.26）、「佐賀県」（1.22）、「山口県」（1.11）の順となり、全国平均は0.88でした。



男性が感じる家事・育児幸福度 対象は男性4,298人

Q. あなたご自身は家事や育児を行うことに幸せを感じていますか？（4段階評価「幸せを感じている」「やや幸せを感じている」「あまり幸せを感じていない」「幸せを感じていない」）

順位	県名	ウエイト平均	順位	県名	ウエイト平均	順位	県名	ウエイト平均	順位	県名	ウエイト平均
1	北海道	1.26	13	沖縄県	0.97	25	新潟県	0.88	37	岩手県	0.82
2	佐賀県	1.22	14	宮城県	0.96	26	石川県	0.87	38	香川県	0.82
3	山口県	1.11	15	和歌山県	0.96	27	熊本県	0.86	39	奈良県	0.82
4	京都府	1.11	16	宮崎県	0.95	28	大分県	0.86	40	広島県	0.81
5	徳島県	1.11	17	富山県	0.93	29	茨城県	0.85	41	青森県	0.80
6	山梨県	1.10	18	大阪府	0.92	30	福岡県	0.85	42	静岡県	0.79
7	福井県	1.07	19	山形県	0.91	31	福島県	0.85	43	兵庫県	0.78
8	三重県	1.07	20	神奈川県	0.90	32	滋賀県	0.84	44	鳥取県	0.78
9	長崎県	1.03	21	高知県	0.90	33	愛知県	0.84	45	長野県	0.76
10	秋田県	1.00	22	愛媛県	0.89	34	栃木県	0.84	46	埼玉県	0.73
11	鹿児島県	0.99	23	岐阜県	0.89	35	島根県	0.84	47	岡山県	0.72
12	千葉県	0.98	24	群馬県	0.88	36	東京都	0.82		全国平均	0.88

小数第3位を四捨五入しているため、ウエイト平均の表記が同数でも順位が異なる場合があります。
例えば、3位～5位は同じ1.11ですが、小数第4位まで見ると、山口県1.1122、京都府1.1121、徳島県1.1111となるため、上記のような順位となります。他の同数で順位が異なることも同様の理由によるものです。

*ランキング算出用のウエイトバック集計を行っているため、本文内のスコアと一部相違する場合があります。

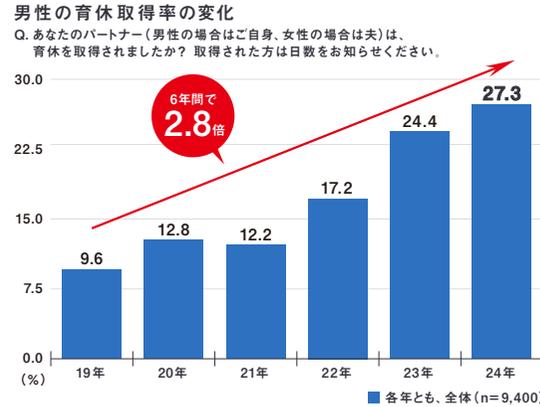
1. 男性の育休取得率と取得日数

積水ハウスが2019年から継続している男性の育休にまつわる実態把握調査。6回目となる今回も子育て中のパパ・ママ層9,400人を対象に、男性は自分自身の育休について、女性は夫の育休について回答してもらいました。

男性の育休取得率は、27.3%と過去最高

男性の育休取得について聞くと、全体の27.3%が育休を取得したと答えています。2019年の育休取得率(9.6%)から6年間で2.8倍にも伸長し、取得率は今年も過去最高を記録しています。

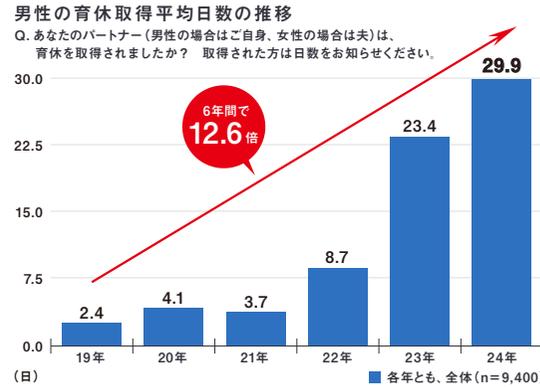
2025年には、男性の育休取得率の公表義務が企業規模1,000人超から300人超へと拡大されることから、さらなる増加も期待されそうです。



男性の育休取得日数は平均29.9日(約1カ月)と過去最高

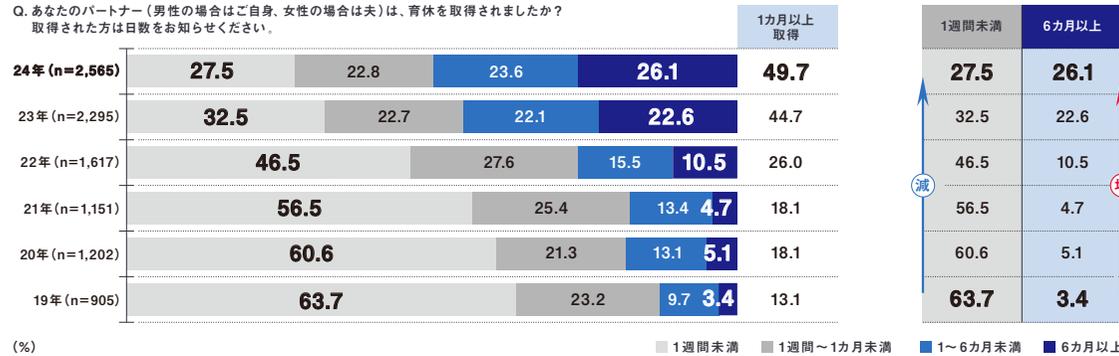
男性の育休取得日数は平均29.9日と、昨年(23.4日)から6.5日も長くなり、2019年の平均日数(2.4日)からは約12.6倍も長くなっています。

また、取得した男性の取得期間を見ると、「1カ月以上」取得した人が約半数(49.7%)を占めています。平均日数が伸びた要因として、6年前と比べて1週間未満の人が63.7%から27.5%と36.2ポイントも減り、6カ月以上の人3.4%から26.1%と22.7ポイントも増えていることが挙げられます。



育休取得男性の育休取得日数の変化

Q. あなたのパートナー(男性の場合はご自身、女性の場合は夫)は、育休を取得されましたか? 取得された方は日数をお知らせください。

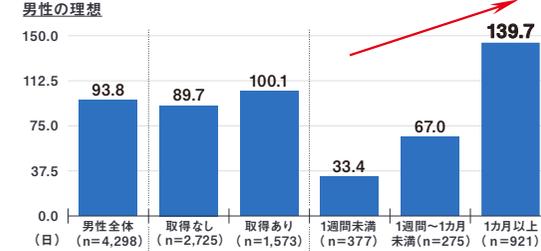


理想の育休取得日数は約3カ月 長く取得した人ほど理想日数も長くなる

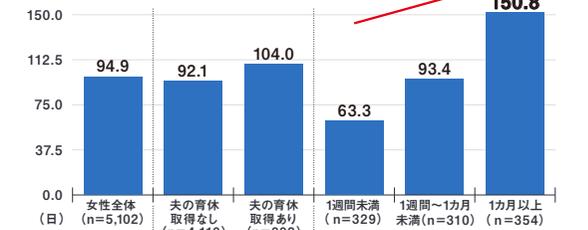
男性育休の取得日数の理想を聞くと、男性は平均で93.8日、女性は平均で94.9日となり、男女とも約3カ月の育休取得を理想としています。これを育休取得経験の有無で見ると、育休を取得していない男性は89.7日、取得した男性は100.1日、夫が育休を取得していない女性は92.1日、夫が育休を取得した女性は104.0日となり、取得経験がある方が10日ほど長く取得したいと考えています。さらに、育休取得日数別に見ると、男性の育休取得日数が長いほど、理想の育休取得日数も長くなっています。育休を取得することで育児の大変さも楽しさも実感でき、より長く関わりたいと望む声や、長期の育休期間の必要性を実感するようです。男性育休が浸透するほど、少しずつ男性の取得日数も長期化していくことが考えられます。

理想の男性の育休取得平均日数

Q. 男性の育休取得期間の理想はどれくらいですか?



女性の理想

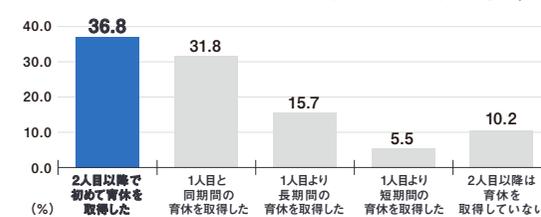


2人目以降の育休取得は、1人目よりも長期で取得する人が多い傾向に

男性が育休を取得し2人以上の子どもがいる人に2人目以降の育休取得について聞くと、「2人目以降で初めて育休を取得」が36.8%と多くなっています。「以前と比べて育休を取る人が増えたから」(女性36歳)、「会社の理解が良くなったから」(男性39歳)など、社会全体が育休を取りやすい環境へと変化しているようです。1人目と2人目以降どちらも育休取得した方に、2人目以降の取得日数を聞くと、平均で129.9日と長期化しています。2人目以降で育休を取得した人の声を聞くと、「1人目を経験して少しでも長く取得した方がいいと思ったから」(男性34歳)、「子どもの成長を共に感じたかったから」(女性27歳)など1人目の経験による気付きや、「子どもが2人になり、妻の負担を減らすため」(男性31歳)といったパートナーの負担軽減などが、2人目以降の育休取得の動機に挙げられました。社会が変化し育休を取得しやすくなったことに加え、男性の取得したいという気持ちが長期化の大きな要因となっています。

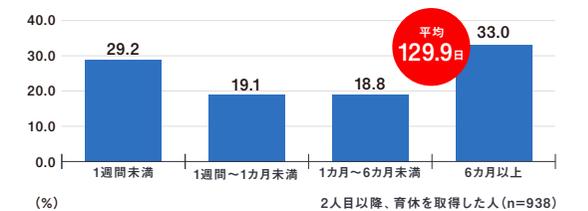
2人目以降の育休取得状況

Q. 2人目以降の子どもが生まれた時、パートナー(男性はご自身、女性は夫)は育休を取得しましたか? 育休取得者のうち、2人以上子どもがいる(n=1,768)



2人目以降の育休取得日数

Q. パートナー(男性はご自身、女性は夫)の2人目以降の育休取得日数は?



2. 育休を取得しやすい男性の傾向

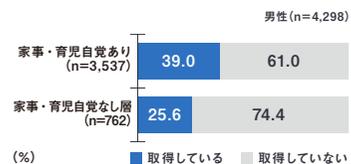
男性の育休取得率は、調査開始以降、年々高くなっています。国や会社の取り組みが功を奏しているともいえますが、実際に育休を取得している人にはどんな傾向があるのか？ 育休を取得している男性の属性から、その傾向を探ります。

家事・育児だけでなく、仕事への意欲が高い男性は育休取得率も高い傾向に

男性の意識別に見ると、自分は家事・育児に積極的に参加する方だと自覚する男性の育休取得率は約4割、夫婦の家事・育児分担で自分の分担の割合意識が「51%以上」と自覚する男性は半数を超えています。また、仕事にポジティブに取り組む方だと自覚する男性の取得率も4割と高くなっています。

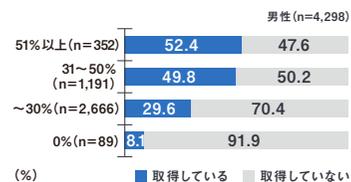
男性の家事・育児への参加意欲別

男性に「子育てを楽しむ、家事や育児に積極的に関与する方だと思いませんか？」と質問しました。「とてもそう思う」「ややそう思う」と答えた人が家事・育児自覚あり層、「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」と答えた人が家事・育児自覚なし層とし、育休取得の有無を見ました。



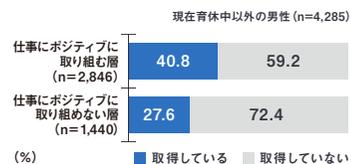
男性の家事・育児負担意識別

男性に「家庭で自身が担っている家事・育児の割合はどれくらいか？」と質問しました。自分が担っている割合が「51%以上」「30~50%」「1~30%」「0%」と答えた人の4層に分け、育休取得の有無を見ました。



男性の仕事への取り組み意欲別

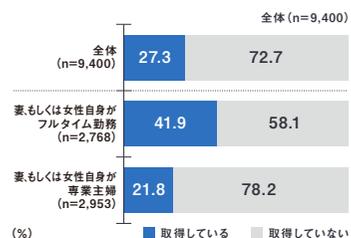
現在育休中ではない有職男性に「現在の仕事にポジティブに取り組んでいるか？」と質問しました。「そう思う」「ややそう思う」と答えた人がポジティブに取り組む層、「あまりそう思わない」「そう思わない」と答えた人がポジティブに取り組めない層とし、育休取得の有無を見ました。



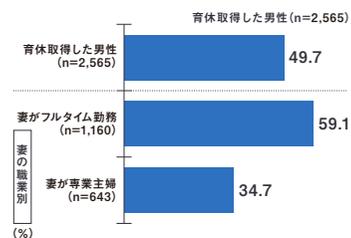
妻がフルタイム勤務の場合、育休取得率も取得日数も高い傾向に

男性の育休取得率を妻の職業別に見ると、妻がフルタイム勤務の男性の育休取得率は41.9%と高く、妻が専業主婦の男性(21.8%)に比べ倍近く高くなります。また、育休を取得した男性のうち「1カ月以上」取得した男性は、約半数の49.7%ですが、妻がフルタイム勤務の場合、59.1%とさらに高くなっています。また、育休を取得した男性のうち、妻から見た日頃の家事・育児実践数別に見ると、実践数が多い男性ほど育休取得率が高くなっています。育休の取得と、家庭内の家事・育児の分担に関係があることがうかがえます。

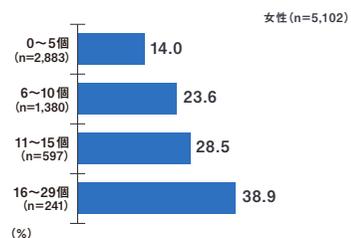
妻の職業別、男性の育休取得率



育休取得した男性のうち、「1カ月以上」取得した割合



男性の家事・育児実践数別 男性の育休取得率



3. 夫の育休取得期間が半年を超えると、妻の満足度は約8割

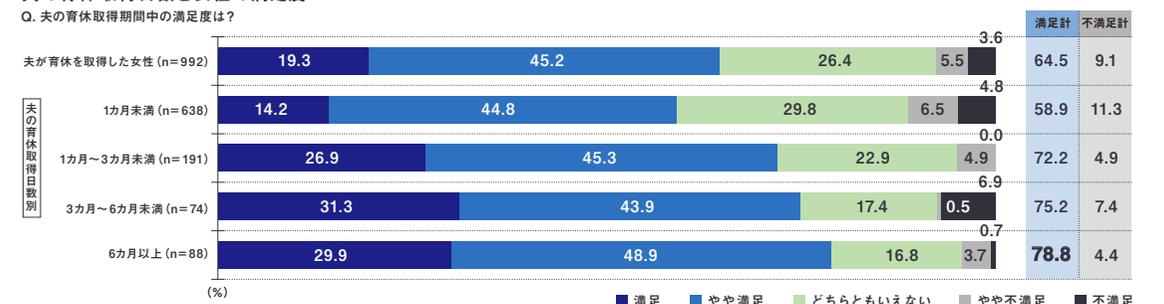
夫の育休取得期間が長くなると、どんな効果もたらされるのでしょうか？ 女性の満足度と、男性自身の家事・育児に対する影響を調べてみました。

夫の育休取得日数が長いほど、女性の満足度は高くなる

今回の調査で夫が育休を取得した女性は992人でした。彼女たちに夫の育休取得に対する満足度を聞くと、「満足」が64.5%と「不満足」(9.1%)を大きく上回る結果となり、夫の育休取得は女性にとって満足度が高いものとなっています。

また、夫の育休取得期間別で見ると、取得期間が長くなるにつれ女性の満足度が高くなり、「6カ月以上」では約8割(78.8%)の女性が「満足」と答えています。

夫の育休取得日数と女性の満足度



男性の育休取得は男性の家事・育児の幸福度・関与度を高める効果も

男性の育休取得と家事・育児に関する幸福度や関与度の関係を見ると、育休を取得している男性は、家事・育児に幸せを感じる割合が80.4%と、取得していない人(68.1%)より12.3ポイントも高くなっています。また、子育てを楽しみ家事・育児に積極的に関与する割合も、取得している人が83.8%と取得していない人(67.3%)より16.5ポイントも高くなっています。

育休取得と男性の家事・育児幸福度



男性の育休取得日数と男性の家事・育児関与度



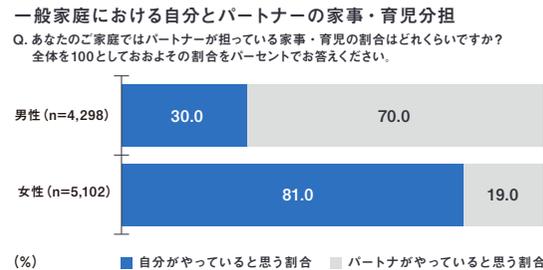
4. 家庭における男女の家事・育児分担率

家庭内の家事・育児分担、 夫の自己評価よりさらに厳しい妻の視点

家庭での家事・育児分担について、自分とパートナーの分担比率を合計で100%になるよう答えてもらいました。

その結果を集計すると、男性は「自分がやっていると思う割合30.0%：妻がやっていると思う割合70.0%」となり、自分の家事・育児分担が少ないことを自覚しています。

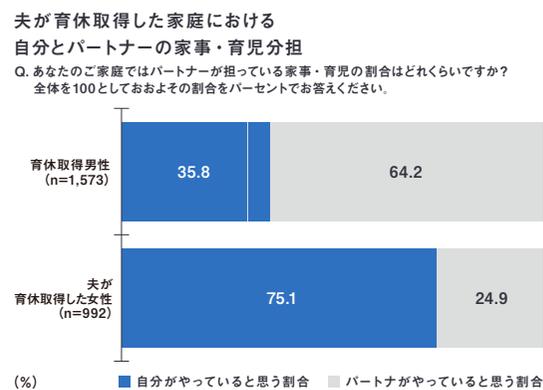
一方女性は、「自分がやっていると思う割合81.0%：夫がやっていると思う割合19.0%」となり、夫に対しては男性の自己評価よりさらに低い評価が下されています。



男性が育休を取得した家庭では、 男女の家事・育児分担差がより小さい

これを男性の育休取得者で見ると、育休取得男性は「自分がやっていると思う割合35.8%：妻がやっていると思う割合64.2%」と、一般家庭における男性の平均より自身の家事・育児分担率が5.8ポイント高くなっています。夫が育休を取得した女性では、「自分がやっていると思う割合75.1%：夫がやっていると思う割合24.9%」と夫の評価が一般家庭における女性の平均より5.8ポイント高くなっています。

夫が育休を取得することは、家事・育児分担の男女差を小さくするようです。

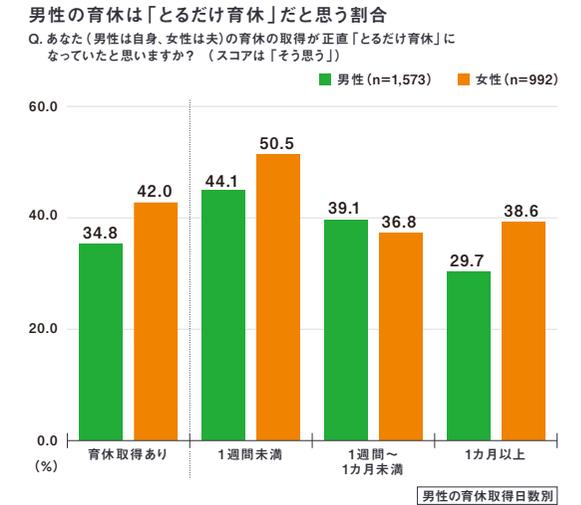


5. 「とるだけ育休」の実態

夫の育休は「とるだけ育休」になりがち？ 妻の4割が「とるだけ育休」と評価

男性が育休を取得しても、家事・育児を行わない「とるだけ育休」という課題もあります。自身が育休を取得した男性1,573人、夫が育休を取得した女性992人に、取得した育休が「とるだけ育休」かどうか聞くと、男性は34.8%、女性は42.0%が夫が取得した育休は「とるだけ育休」と答えています。男性の育休取得が「とるだけ育休」になっていると感じる女性が、男性の認識以上に多くなっています。

育休取得日数が長くなると、男性の「とるだけ育休」意識は低下するものの、女性は夫の育休取得日数が「1カ月以上」でも、約4割(38.6%)は「とるだけ育休」と感じています。

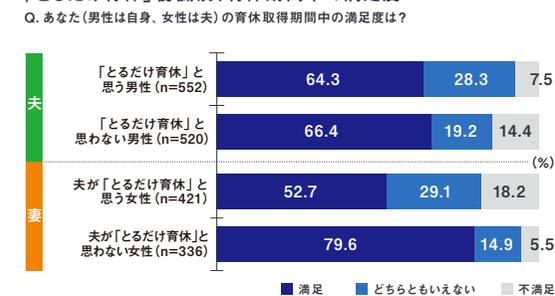


「とるだけ育休」の自覚有無に関わらず 男性の育休満足度や家事・育児分担意識は変化なし

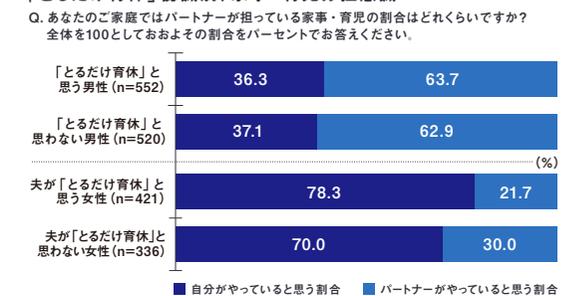
「とるだけ育休」の認識別に育休期間中の満足度を見ると、「とるだけ育休」と思う男性(64.3%)も、「とるだけ育休」と思わない男性(66.4%)も満足度はほぼ同じでした。一方女性は、夫の育休が「とるだけ育休」と思う女性の満足度は52.7%と低くなっています。家事・育児の分担割合も、男性は「とるだけ育休」の自覚の有無で差はほとんどありませんが、夫が「とるだけ育休」と思う女性は、自身の家事・育児分担の割合が78.3%と高くなっています。

男性は自分が取得した育休が「とるだけ育休」と認識していなくても、育休中の満足度は変わらず、家事・育児の分担意識も変化していません。男性は、「とるだけ育休」と分かっても育休を取得したこと自体に満足しているのか、家事・育児分担意識への影響は限定的でした。

「とるだけ育休」認識別、育休期間中の満足度



「とるだけ育休」認識別、家事・育児分担意識



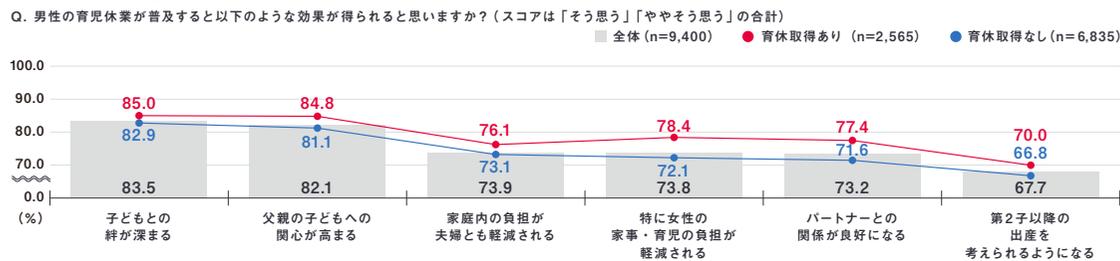
6. 男性育休取得と家族との関係性の変化

今回の調査では、男性の育休取得が浸透すると、家族の幸せが増えると思う人が多くなっています。理由を探ると家事・育児に対する女性(妻)のチーム意識や男性(夫)の家事・育児の当事者意識が高まり、女性(妻)のパートナー評価も、男性の育休取得日数が長いほど高まる傾向があり、それが家族の幸せ効果につながっているようです。

男性の育休取得が普及すると、家族の幸せが増える

男性の育休取得が普及するとどんな効果があると思うかを全員に聞くと、「子どもとの絆が深まる」(83.5%)、「父親の子どもへの関心が高まる」(82.1%)など、まずは子どもとの関係性が良くなると考えられています。次いで、「家庭内の負担が夫婦とも軽減される」(73.9%)、「特に女性の家事・育児の負担が軽減される」(73.8%)、「夫婦関係・パートナーとの関係が良好になる」(73.2%)と続き、家庭内にも良い影響があると考えられています。育休取得の有無で見ると、育休を取得した人は、取得していない人に比べいずれのスコアも高く、育休取得の効果を実感しているようです。

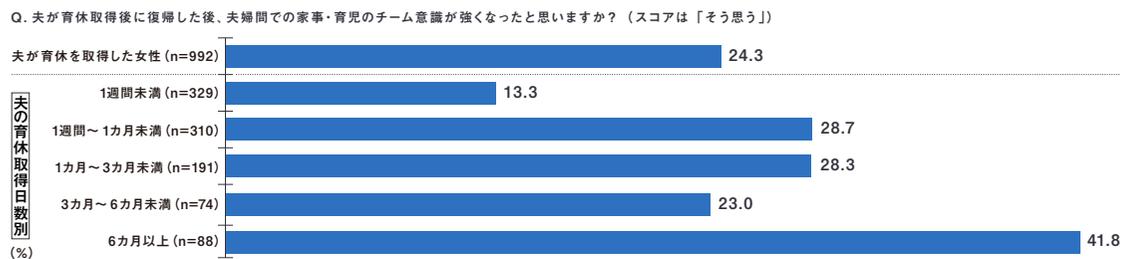
男性の育休取得普及による効果



男性の育休取得日数が長いと、女性の「家事・育児のチーム意識」は高まる

夫が育休を取得し職場に復帰した後、妻に夫婦間での家事・育児のチーム意識が強くなったかを聞きました。すると24.3%と4人に1人が「チーム意識が強くなった」と答えています。これを夫の育休取得日数別に見ると、取得日数が「1週間未満」では13.3%と少ないのに対し、取得日数が長くなるとともにチーム意識は高まり、「6カ月以上」になると41.8%と4割以上が「チーム意識が強くなった」と答えています。男性の育休取得日数が長くなると、妻の家事・育児のチーム意識はより強く育まれるようです。

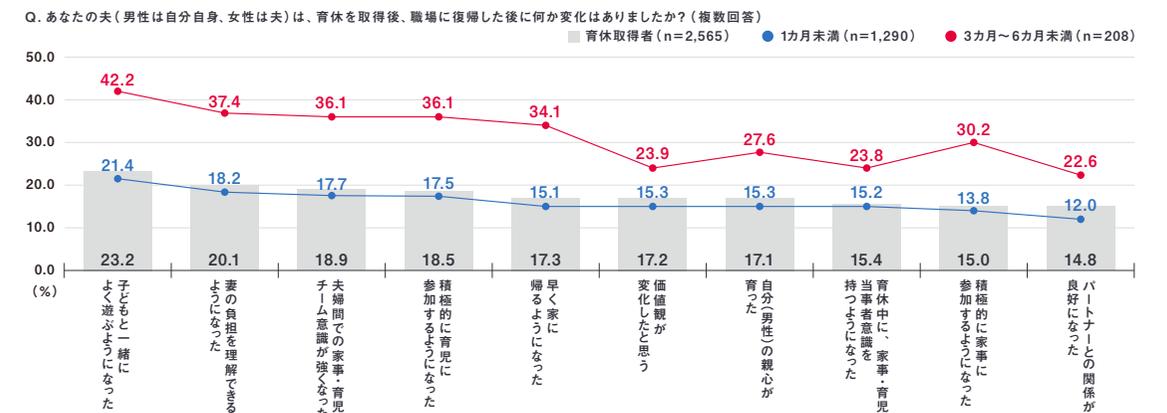
夫の育休取得日数別、妻が思う夫婦間のチーム意識



男性の育休取得日数が長いほど、家庭における男性の変化はより良い方向に

男性が育休を取得して職場に復帰した後の、家庭における男性の変化を聞きました。「子どもと一緒に遊ぶようになった」(23.2%)、「妻の負担を理解できるようになった」(20.1%)、「夫婦間での家事・育児のチーム意識が強くなった」(18.9%)、「積極的に育児に参加するようになった」(18.5%)などの変化が挙げられました。育休取得日数別に見ると、取得日数が長い方が変化の割合が大きくなっています。

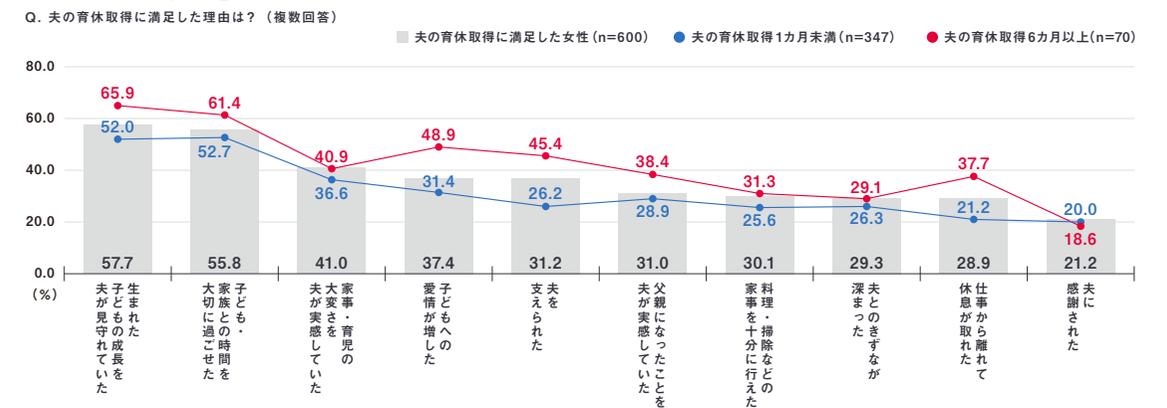
育休取得後の男性の家庭での変化



男性の育休取得日数が長いほど、女性の夫への評価も高くなる

夫の育休取得に「満足」と答えた女性600人に満足した理由を聞きました。すると、「生まれた子どもの成長を夫が見守っていた」(57.7%)、「子ども・家族との時間を大切に過ごせた」(55.8%)に続き、満足した女性の41.0%が「家事・育児の大変さを夫が実感していた」と答えています。これを夫の育休取得日数別に見ると、取得日数が長い方が、多くの項目で高くなっています。男性の育休取得は日数が長いほど、女性は育休に対する満足度が上がり、夫への評価も高くなるようです。

夫の育休取得に「満足」した理由



7. 男性育休取得者による職場への影響

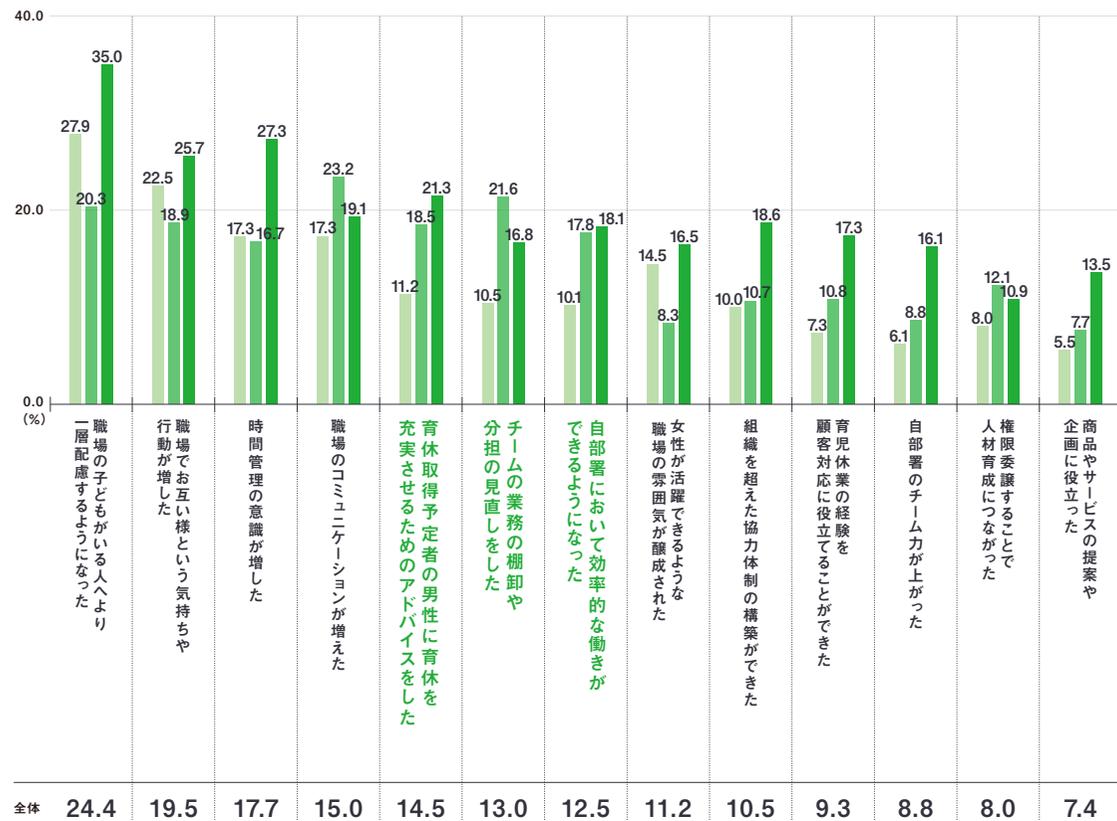
育休取得後、職場復帰した男性社員の変化 育休取得により仕事に対するプラスの変化が生じる

育休取得後に会社に復帰した男性に、職場での変化について聞き、育休取得が「1週間未満」と「1週間～1カ月未満」「1カ月～6カ月未満」の男性で比較しました。すると、「職場の子どもがいる人へより一層配慮するようになった」（1週間未満27.9%、1カ月未満20.3%、6カ月未満35.0%）や「職場でお互い様という気持ちや行動が増した」（1週間未満22.5%、1カ月未満18.9%、6カ月未満25.7%）などの思いやりの気持ちは育休取得1週間未満でも芽生えるのに対し、「育休取得予定者の男性に育休を充実させるためのアドバイスをした」（1週間未満11.2%、1カ月未満18.5%、6カ月未満21.3%）、「チームの業務の棚卸や分担の見直しをした」（1週間未満10.5%、1カ月未満21.6%、6カ月未満16.8%）、「自部署において効率的な働き方ができるようになった」（1週間未満10.1%、1カ月未満17.8%、6カ月未満18.1%）などの働き方に関することは、取得日数が「1週間以上」で、より意識が高まる傾向が見られました。

育休から復職後の男性の変化

Q. 育休を取得し復帰した後、職場に何か変化はありましたか？（複数回答）

育休取得後に会社に復帰した男性
 ■ ~1週間未満 (n=377) ■ 1週間～1カ月未満 (n=275)
 ■ 1カ月～6カ月未満 (n=339)



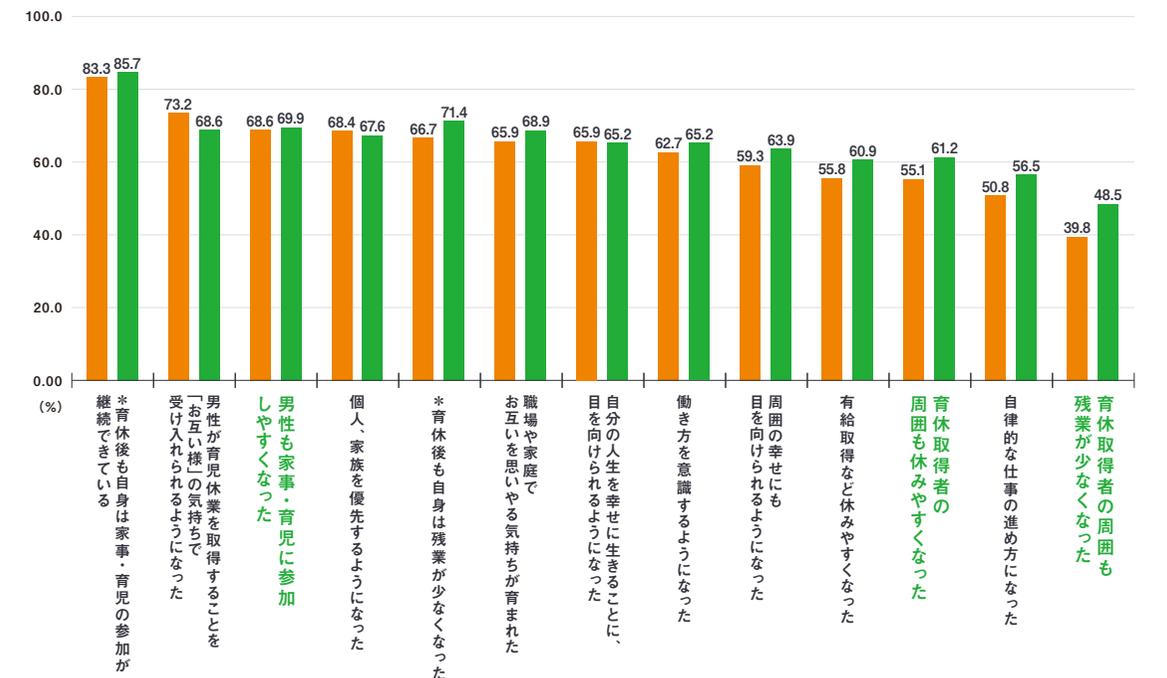
男性育休の推進により、 一般社員層とマネジメント層の意識差が解消 周囲の男性社員の家事・育児参加も促進される

一般社員層とマネジメント層に、男性の育休が促進され取得する人が増えたことで、職場にどんな変化があったかを聞きました。一般社員層では、育休取得者本人の「育休後も自身は家事・育児の参加が継続できている」（83.3%）が1位ですが、取得者以外も含め約7割が「男性も家事・育児に参加しやすくなった」（68.6%）と答え、育休を取得する男性の存在が周囲の男性の家事・育児参加に良い影響を与えています。経営者・役員、部長クラスのマネジメント層も同様の傾向で、「育休取得者の周囲も休みやすくなった」（一般層55.1%、マネ層61.2%）、「育休取得者の周囲も残業が少なくなった」（一般層39.8%、マネ層48.5%）はマネジメント層の方がスコアが高く、育休取得者がいることで職場全体の休暇取得が推進され、残業時間の削減に寄与するなどの効果を実感しています。かつて、男性の育休取得は経営陣からは推奨されない風潮が指摘されていましたが、今では男性の育休取得を歓迎するマネジメント層が増えているようです。

男性育休が増えたことによる職場の変化

Q. 育休を取得し復帰した後、職場に何か変化はありましたか？（複数回答）

■ 一般社員層 (n=437) ■ マネジメント層 (n=299)



一般社員層とマネジメント層の対象者は自身の部下・同僚・上司いずれかに育休取得者がいる人、育休取得経験がある男性、所属企業が男性育休を促進している人のいずれかを満たす人です。
 *「育休後も自身は家事・育児の参加が継続できている」「育休後も自身は残業が少なくなった」の回答者は育休取得当事者で、一般社員層12人、マネジメント層14人です。

8. 男性の育休取得が 女性のキャリアに与える影響

夫の育休取得に対する満足度が高い女性は、職場への復職が早い

夫の育休取得に対する「満足」「不満足」と答えた層別に、女性の育休後の復職の違いを見えます。夫の育休取得に満足と答えた女性の復職率は85.7%ですが、不満足と答えた女性の復職率は69.9%と15.8ポイントも低くなっています。また仕事に復職したタイミングは、夫の育休取得に満足した女性は、86.3%が「2年未満」に復職しているのに対し、不満足な女性では70.6%と、復職がやや緩やかになっています。

夫の育休の満足度別、女性の仕事への復職率
Q. 産後どれくらいで職場に復職しましたか？



夫の育休の満足度別、女性の仕事への復職時期
Q. 職場に復職した時期はいつですか？

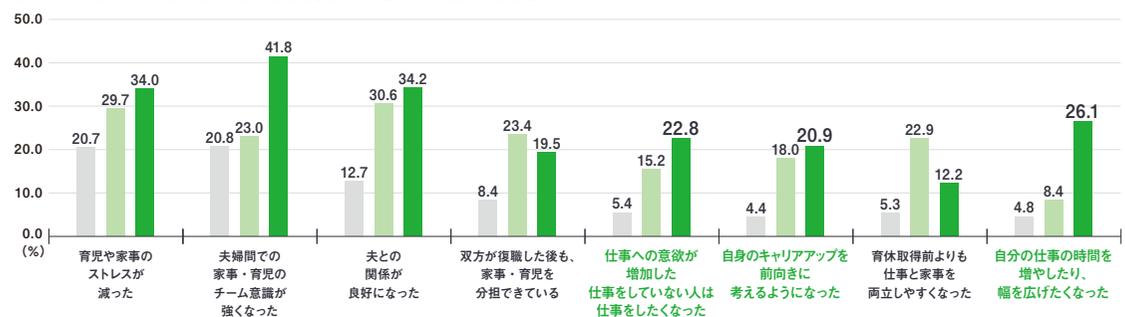


男性の育休取得日数が長いと、女性のキャリア形成にもプラスの効果 男性の育休取得は、女性の働く意欲を高める

育休を取得した夫が職場に復職した後、女性の意識の変化を本人に聞き、夫の育休取得期間別で比較しました。すると、夫の育休取得日数が「6カ月以上」の女性で、「夫婦間での家事・育児のチーム意識が強くなった」(41.8%)、「夫との関係が良好になった」(34.2%)など家庭内の円満さに加え、「仕事への意欲が増加した」(22.8%)、「自身のキャリアアップを前向きに考えるようになった」(20.9%)、「自分の仕事の時間を増やしたり、幅を広げなくなった」(26.1%)など、働く意欲も高まっていることが伺えます。3カ月以上でも同様の傾向は確認されることから、夫のより長い育休取得は、女性のキャリア形成にもよい効果があると言えます。

夫の育休取得後の女性の意識の変化

Q. パートナーが育休取得後に復職した後、あなた自身の変化はありましたか？ (複数回答)



COLUMN

男性の育休は「頑張るもの」から「当たり前」に

次に目指すのは育休後の男女平等

ジャーナリスト／東工大准教授 治部れんげさん

今回の調査結果を見て、男性の育休は、本当に「当たり前」になってきたと感じました。取得割合、取得日数ともに過去最高というデータから、父親の働き方が変化してきたことが分かるためです。

まず、父親はどのくらいの期間、育休を取っているか見てみましょう。P.9から男性の育休取得日数を見ると、1位から5位までの県では40.1~44.7日となっています。^{*1}これは、厚生労働省が2023年に発表した大企業(従業員1,000人以上)の男性育休取得日数46.5日と並ぶ数字です。^{*2}

次に、父親の家事・育児時間を見てみます。総務省が2021年に発表したデータによると、6歳未満の子どもがいる男性の家事・育児時間が1日1時間54分、7日間では14時間弱です。^{*3} P.10から男性の1週間の家事育児時間を見ると、1位から20位までの県は、14時間を超えていることがわかります。そして、1位の高知県(19.8時間)と47位の大分県(9.9時間)には、およそ10時間の差があることがわかります。こうした違いを生み出す要因について、働き方やジェンダー規範の側面からさらに詳しく掘り下げるといいと思います。

今回の調査では、育休取得と夫婦のキャリアの関連を分析したP.20~22を特に興味深く読みました。育休から復帰した男性は、職場でのコミュニケーションが増えたり、効率的な働き方をしたりするようになってきているようです。また、夫の育休取得期間に満足している女性は、職場への復帰が早いという結果も出ています。

このデータは、私がかつて取材した子育て中カップルのワークライフ・バランスの状況とも一致しています。女性に手厚い育児支援をしていた大企業で、女性が辞めていく、という現象を観察したのですが、結果的に家庭内で女性だけが育児を担うことになり、負担感や仕事を思い切りできない不完全燃焼感などから、優秀な女性たちが仕事

^{*1} 報告書p9の表より
^{*2} <https://www.mhlw.go.jp/content/001128241.pdf>
^{*3} <https://www.stat.go.jp/info/today/pdf/190.pdf>

への意欲を失っていたのです。この取材から、男性の家庭進出支援なくして、真の女性活躍はない、と感じました。

近年、急速に進んできた男性育休の取得支援は、まず、男性の家庭参加を促します。まとまった時間を家事・育児に費やした男性は、仕事のみの生き方を見直し、ケア責任を踏まえたキャリア意識を持つようになりました。そして、夫も家庭責任を分担できる、一人で全て背負わなくていい、と知った妻は、自身のキャリア形成にアクセルを踏むことができるようになります。

かつてのように、男性は仕事優先、女性は家庭優先という性別役割を何となく果たすのではなく、短期、中期、長期で優先すべきことを自身で考え、夫婦で話し合っ決めていくことになります。これが、「男性の育休取得は男女それぞれの自律を促す」現象と言えるでしょう。男性育休を「当たり前にする」ことを目指す、日本企業の取り組みは、海外からも関心を持たれています。私は今年6月末にカナダ・モントリオールで開かれた「仕事と家族」に関する学会で、男性育休推進について発表しました。どの国でも、長年続いた「男性がメインで働き、女性が子育てする」という文化を変えることに苦心する中「日本では、どう理由で男性の育休を推進したのか」と驚かれました。

これから日本は、育休後男性のいっそうの家庭参加を推進しつつ、『当たり前』を変えた貴重な経験を世界に発信する役割を担う存在となっていく、と言えるでしょう。



治部れんげ

東京工業大学リベラルアーツ研究教育院准教授、日経BP社にて経済記者を16年間務める。ミシガン大学フルブライト客員研究員などを経て2021年4月より現職。内閣府男女共同参画計画実行・監視専門調査会委員、日本ユネスコ国内委員会委員、東京都男女平等参画審議会委員、豊島区男女共同参画推進協議会会長、日本メディア学会ジェンダー研究部会長、日本テレビ放送網株式会社 放送番組審議会委員など、一橋大学法学部卒、同大学経営学修士課程修了。著書に「稼ぐ妻 育てる夫：夫婦の戦略的役割交換」(勁草書房)、「炎上しない企業情報発信：ジェンダーはビジネスの新投資である」(日本経済新聞出版社)、「男女格差後進国の衝撃」(小学館)、「ジェンダーで見るヒットドラマー韓国、日本、アメリカ、欧州」(光文社)、「きめつけない!「女らしさ」「男らしさ」：みんなを自由にするジェンダー平等」1~3巻(汐文社)等。

積水ハウスの育休取得の男性社員と妻に聞いた、

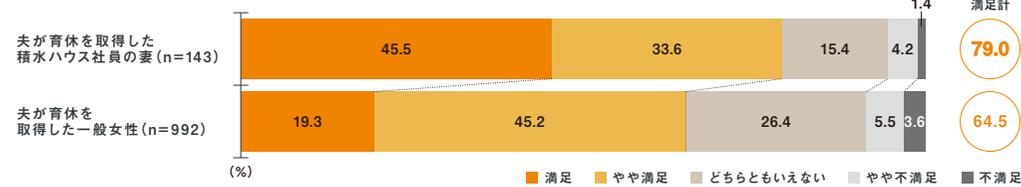
積水ハウスの男性社員の育休取得制度は、 家庭・職場にもポジティブな変化を生み出している

積水ハウスでは、2018年9月より「男性社員1カ月以上の育休完全取得」を実現するために、男性育休取得100%の取り組みを推進しています。育休を取得した男性社員とその妻に、育休取得に関する調査を行いました。

積水ハウス社員男性の育休取得に対する妻の満足度は高く、「とるだけ育休」と感じる割合は低い

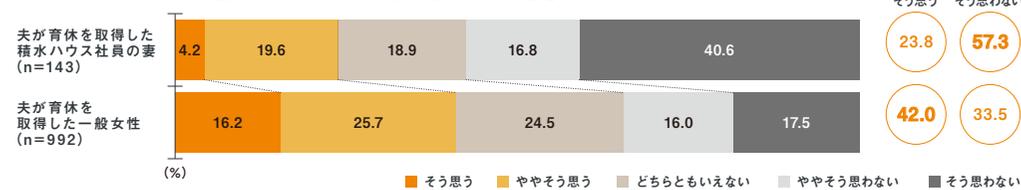
積水ハウス社員男性の育休取得中の妻の満足度は79.0%と高く、本調査での一般女性の満足度64.5%を大きく上回っています(P.15参照)。

Q. 夫の育児休業取得期間中のあなたの満足度は？



夫の育休が「とるだけ育休」だったかと聞くと、積水ハウス社員の妻の約6割は「思わない」(57.3%)と答えています。本調査の一般女性では42.0%が「とるだけ育休だと思う」と答えています(P.17参照)。

Q. 夫の育休取得は、正直「とるだけ育休」になっていたと思いますか？



積水ハウス男性社員の家事・育児は、妻も認めるクオリティ

夫が普段行っている家事・育児実践数を妻に聞くと、積水ハウス社員男性は一般男性に比べて総じて実践率が高く、実践する平均個数も12.0個と一般男性(5.9個)の2倍以上となっています。中でも、「食事後の片付け・洗い物」(積水67.8%:一般36.3% 31.5pt差)、「家計・資産の管理」(積水60.1%:一般26.3% 33.8pt差)、「子どもの保育園・幼稚園・学校や習い事への送迎」(積水50.3%:一般18.6% 31.7pt差)は一般男性と30ポイント以上も差が大きくなっています。積水ハウス男性社員は家事・育児に積極的に取り組み、その実践ぶりは妻も認めています。

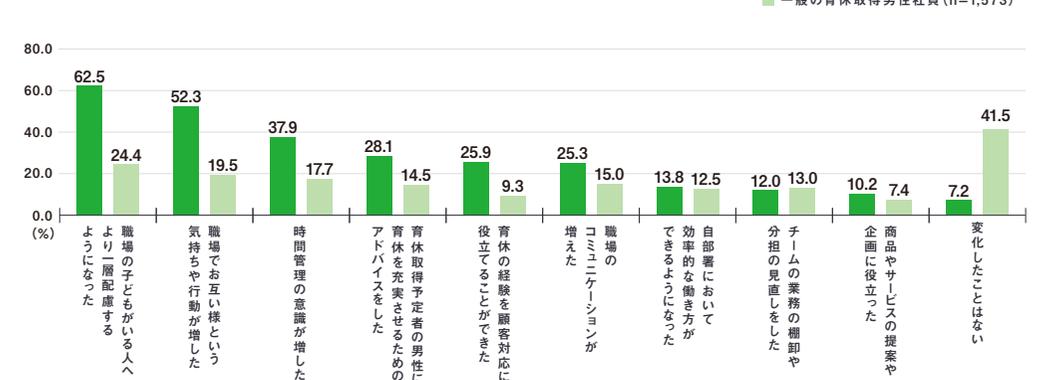
「積水ハウス男性育休アンケート調査」調査概要

●実施時期：2024年6月27日(木)～7月4日(木) ●調査方法：インターネット調査
●調査対象：2019年2月1日(金)～2024年5月31日(金)に育休を取得した男性社員499人とその妻143人

育休を取得した積水ハウス男性社員は、 職場復帰後「人に優しく」「育休推進役を担う」 「育休経験を仕事に生かす」などプラスの変化を実感している

育休取得後、職場復帰した積水ハウス男性社員に、復帰後の職場での変化を聞きました。すると、「職場の子どもがいる人へより一層配慮するようになった」が62.5%、「職場でお互い様という気持ちや行動が増した」が52.3%など、半数以上で職場の人たちへの優しさが増し、約4割が「時間管理の意識が増した」(37.9%)と答え、仕事と家事・育児のワークライフバランスを意識するようになっていきます。ほかにも、約3割が「育休取得予定者の男性に育休を充実させるためのアドバイスをした」(28.1%)と社内での育休推進役を担い、約4人に1人は「育休の経験を顧客対応に役立てることができた」(25.9%)と育休経験を仕事にも生かしています。一般の育休取得男性は41.5%が「変化したことはない」と答えているのに対し、積水ハウス社員のスコアは7.2%とわずかで、育休取得後に変化をより一層実感していることがうかがえます(P.20参照)。

Q. 育休を取得後、復帰した後に職場で変化はありましたか？



Q. 夫が普段行っている家事・育児は？

